

茶の早生品種‘さえみどり’、‘さきみどり’の生育および品質特性

茶の早生品種である‘さえみどり’、‘さきみどり’の本県における生育や品質について調査しました。ともに中生品種の‘やぶきた’と比較し、萌芽期は3日程度早くなります。また、ともに‘やぶきた’と比べアミノ酸の含有率が高く、品質が良好です。

【生育特性】

- 定植後の生育を2品種で比較すると、‘さきみどり’の生育が良い傾向が見られます(図1～3)。
- ‘さえみどり’は平均3日、‘さきみどり’は平均2.5日‘やぶきた’と比べ萌芽期が早い傾向があります(表1)。

【品質特性】

- うま味成分であるアミノ酸の含有率は、‘さえみどり’、‘さきみどり’は、‘やぶきた’よりも高く、品質が良い傾向があります(表2)。

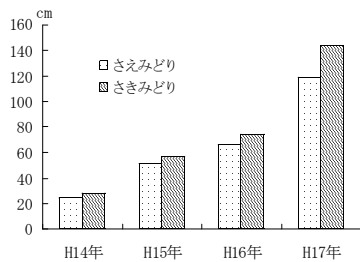


図1 植高の年度比較

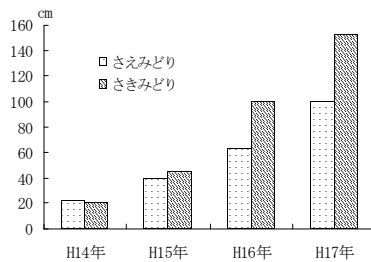


図2 株張りの年度比較

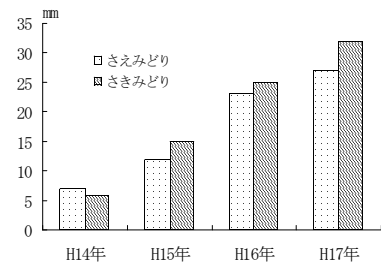


図3 幹径の年度比較

表1 ‘やぶきた’を基準日とした萌芽期

品 種	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
さえみどり	-1日	-8日	-3日	0日
さきみどり	0	-9	-1	0
やぶきた	4月6日	4月15日	4月15日	4月15日

表2 各品種の内容成分含有量

品 種	アミノ酸	タンニン
さえみどり	3.52%	9.88%
さきみどり	2.97	10.80
やぶきた	2.59	10.83